

市民企画講座

東日本の地震・津波から学ぶこと



～ 海拔0メートル尼崎の防災～
 復興・助け合い
 開講 13:30

その昔、わが町JR尼崎駅の南は海でした。冬市内の中心部当り、庄下川を上り尾浜灯台へ多数カモメが飛んで来ます。30年以内60%の確率で来るとされている南海地震に備え、尼崎の海と川の堤防は大丈夫なのか？高度成長期工場地帯で栄えた尼崎市、地下水吸い上げで地盤沈下が進み海拔0メートルなのです。東日本・阪神の大震災から何を教訓に活かし学びとれるのでしょうか。

*ちなみに30年以内に地震以外の遭遇確率は、高い順では交通事故で怪我20%・ガン死6,8%・空き巣3.4%らしいですよ・・

回	とき		学習内容	講師
1	5/24 (木) 13:30-15:30	初め	30年内？南海大地震と津波の被害 ～もし、尼崎が津波に襲われたら～	ゼロメートル地域津波防災研究会 尼崎市自治体問題研究所 理事 安田 義
2	5/31 (木) 13:30-15:30	仲間は 大切	帰宅難民にならないために ～ハザードマップをつくろう～	ひょうご防災特別推進員 志築 芳和
3	6/7 (木) 13:30-15:30		ご近所・地域との付き合い ～災害時の助け合いボランティアから～	関西学院大学教授 災害復興制度研究所長 室崎 益輝
4	6/14 (木) 13:30-16:30	備えと 実践	心肺蘇生とAEDの使い方 ～普通救命講習終了書授与～	兵庫県防災リーダー 救急インストラクター 志築 芳和
5	6/21 (木) 13:30-15:30		これだけは備えよう家での対策 ～これだけは持ち出そう～	技術士(建設部門・建設環境) ひょうご防災特別推進員 石塚 幹剛
6	6/25 (月) 13:30-15:30	活かす	近畿の水がめ琵琶湖から20キロの原発 ～原発事故の被害総額が語る警告!～	関西学院大学総合政策学部 准教授 朴勝俊
7	7/5 (木) 13:30-15:30		遺跡が語る地震の歴史 ～地震考古学から見た今世紀の南海地震～	地震考古学者 寒川 旭

受付 4月16日(月)から先着40人受講料は無料 受講生募集中!

申込 尼崎市立小田公民館
06-6495-3181

